


















令和5年度国際理解ワークショップ 進行シート

令和 5年 8月 17日作成

大学名： 新潟国際情報大学

タイトル： 「I HAVE A DREAM!」～全ての子供たちに教育を～

1. 本ワークショップに関連するSDGsの目標に○印をつけてください。

○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標	○印	SDGs17の目標
<input type="radio"/>	 ①貧困をなくそう		 ⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに		 ⑬気候変動に 具体的な対策を
	 ②飢餓をゼロに		 ⑧働きがいも 経済成長も		 ⑭海の豊かさを 守ろう
	 ③すべての人に健康と 福祉を		 ⑨産業と技術革新の 基盤をつくろう		 ⑮陸の豊かさも 守ろう
<input type="radio"/>	 ④質の高い教育を みんなに	<input type="radio"/>	 ⑩人や国の不平等 をなくそう		 ⑯平和と公正を すべての人に
	 ⑤ジェンダー平等を 実現しよう		 ⑪住み続けられる まちづくりを		 ⑰パートナーシップ で目標を達成しよう
	 ⑥安全な水とトイレを世 界中に		 ⑫つくる責任 つかう責任		

2 : 本ワークショップの要旨

ユネスコによると、2021年時点で、世界には約2.5億人の子供達が学校に通えておらず、様々な要因で教育格差が生じている。この教育格差は、所得格差や貧困、そしてそれが再び教育格差を引き起こす。この負の連鎖から抜け出すために本ワークショップでは、途上国に見られる教育格差を中心に、今を生きる私たちにできることを参加者と共に考えたい。

3 : 本ワークショップの目的(目標、実現したいこと)

教育格差の現状を知り、自分事にする。

4：本トピックをとりあげる理由

途上国には、置かれた環境によって十分に教育を受けられない子供たちが存在し、未だに教育格差が続いているから。

5 : 活動過程

(使用時間 : 95 分 (予備 15 分)

参加人数 : 11 名)

過程 (所要時間)	活動内容	具体的な発問・ 説明・動きなど	ねらい	使用する 教材・備品	予想される反応、 その他注意事項
導入 : 起 (29 分)	あいさつ (1 分)	参加する大学生 が、挨拶と簡単な 自己紹介をする	大学生の名前 を 知ってもらう		
	SDGs の説明 (1 分)	SDGs を知ってもら う			
	ワークショッ プの説明、グラ ンドルール (3 分)	ワークショップの 流れを説明し、ワ ークショップ中に 守ってほしいルー ルを提示する		・グランドルー ルの紙	
	自己紹介 (3 分)	グループの中で、 名前と好きな教科 を話す	参加者との距 離を縮め、意 見を出しやす い場づくりを する		
	世界クイズ (21 分)	世界地図を用意 し、参加者にサイ コロ振ってもら い、当たった大陸 の国についての教 育関連のクイズを グループごとに解 いてもらう	世界の教育に ついて知って もらう	・世界地図 ・サイコロ	

<p>展開：承 (16分)</p> <p>休憩 (10分)</p>	<p>ザヒラさんの1日の生活 (10分)</p> <p>途上国の教育格差・負の連鎖の現状を伝える (6分)</p>	<p>途上国の子供の1日を知ってもらう</p> <p>途上国の子供達がなぜこのような生活を送っているのか、その背景を知ってもらう</p> <p>心と体をリフレッシュ</p>	<p>自分の1日の生活と比較してもらう</p> <p>途上国の教育格差の現状を知ってもらう</p>	<p>・紙芝居</p> <p>・語句の説明の紙</p>	
<p>発展：転 (25分)</p>	<p>神の一手ワーク① (10分)</p> <p>共有 (2分)</p> <p>神の一手ワーク② (15分)</p> <p>共有 (3分)</p>	<p>ザヒラさんの事例を例に、自分達ならどの場面で支援を行うか考える</p> <p>考えたことを共有する</p> <p>ワーク①で考えた支援について、更に詳しく考える</p> <p>考えたことを共有する</p>	<p>自分たちなりに支援を考えてもらい、自分事にするきっかけにする</p> <p>他のグループの意見を知る</p> <p>自分たちなりに支援を考えてもらい、自分事にするきっかけにする</p> <p>他のグループの意見を知る</p>	<p>・紙芝居</p> <p>・模造紙(表)</p> <p>・ポストイット</p> <p>・ペン</p> <p>・模造紙(裏)</p> <p>・ポストイット</p> <p>・ペン</p>	

まとめ：結 (10分)	活動紹介 (5分)	実際に支援を行っている団体紹介する	実際に行われている活動を知ってもらう		
	今日の振り返り・私たちの伝えたいこと (5分)	伝えたいこと ↓ 自ら様々な問題に対して、知ろうという意識を持ち、自分なりに考え始められるようになってほしい	メッセージを伝える		

6：会場のセッティング（対面の場合のみ）

7：使用する教材

- ・パワーポイント
- ・世界地図
- ・サイコロ
- ・模造紙
- ・筆記用具
- ・ペン
- ・ポストイット
- ・ベル
- ・ストップウォッチ
- ・

8：参考にした資料

- ・小松太郎（2016）.『途上国世界の教育と開発ー公正な世界を求めて』.上智大学
- ・關谷武司（2018）.『開発途上国で学ぶ子どもたち マクロ政策に資するミクロな修学実態分析』.関西学院大学出版会
- ・パスカル・プリッソン(2017).『学校へ行きたい！世界の果てにはこんな通学路が！-ザヒラ モロッコの12歳』.六耀社
- ・[世界の果ての通学路 | 学び！とシネマ | まなびと | Web マガジン | 日本文教出版 \(nichibun-g.co.jp\)](http://nichibun-g.co.jp)

9 : その他